

医学用語あれこれ 11



浜口 恵子

今回は数、量を表す接頭辞を見ましょう。

mono	: 1、単
uni	: 1、単
di、dis	: 2、重、双、複
bi、bis	: 2、重、双、複
tri	: 3
hemi	: 半、半分
semi	: 半、半分
poly	: 多
multi	: 多

mono、di、hemi、poly はギリシア語由来の、uni、bi、semi、multiはラテン語由来の接頭辞です。tri はギリシア語およびラテン語の双方から派生してきた共通の接頭辞です。hemi は純医学用語と共に用いられることが多く、semi は近代英語あるいは近代英語に近い語と共に用いられます。

chromat/o は色を意味する連結形ですが、mono/chromat/ic とすると単色の、一色性という形容詞になります。dactyl/oは手指、足指を指し、mono/dactyl/y で手、あるいは足の指が1本しかない状態、単指症を表します。mono/neur/itis は単神経炎です。

nucle/o は核を表す連結形ですが、uni/nucle/ar は単核のです。articul/ar は関節のという形容詞ですが、uni/articul/ar で単関節の、一関節のという意味になります。uni/ocul/ar は単眼の、一眼を指します。

gloss/o は舌にあたる連結形ですが、di/gloss/ia とすると舌が二また、あるいは縦に裂けた状態、すなわち複舌、複舌症を表します。di/chromat/ic は二色性の、二色性色覚のです。di/arthr/ic、di/articul/ar

は共に二関節のという形容詞です。同じくbi/articul/arも二関節のを指します。

auricul/arは耳介のという意味の形容詞ですが、bi/auricul/ar で両耳介のとなります。bi/dactyl/y は第1指と第5指だけがあってその間の指がない異常、二指症を表します。bi/sexu/al は両性のです。

later/o は外側、側方を意味する連結形ですが、tri/later/al で三側のとなります。tri/chromat/ic は三色の、三原色のです。tri/cephal/us は三頭体です。

plegi/a は麻痺を指す名詞ですが、hemi/plegi/a で片麻痺、半側麻痺、半身不随を表します。hemi/cephal/algia、hemi/crani/a は片側頭痛、片頭痛、hemi/cardi/aは一側心臓症です。

com/a は昏睡を表しますが、semi/com/a で半昏睡となります。semi/consci/ous は半ば意識のある、半意識の、semi/circul/ar は半円の、半輪のという意味になります。

angi/oは血管を指しますが、poly/angi/itisで多発性血管炎です。poly/dactyl/y は多指(趾)症、poly/chromat/ic は多色性の、poly/chondr/itis は多発性軟骨炎です。

nod/e は結節を表しますが、multi/nod/al で多結節のになります。glandul/ar 腺のからは multi/glandul/ar 多腺性の、lobul/ar 小葉のからは multi/lobul/ar 多葉(性)のが作られます。multi/form は多形のです。

長く続いた接頭辞も、ひとまずこの辺で終わります。今回までで医学用語の基本は学びましたので、ちょっとひと息つきましょう。あとは少しずつ語彙を増やしていくだけですので、リラックスしていただければと思っています。

はまぐち けいこ : 高槻赤十字病院図書室